

2024年3月期 決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年5月14日

上場会社名 アステリア株式会社 上場取引所 東
コード番号 3853 URL https://jp.asteria.com/
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平野 洋一郎
問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員コーポレート本部長 (氏名) 齊藤 裕久 TEL 03-5718-1655
定時株主総会開催予定日 2024年6月22日 配当支払開始予定日 2024年6月7日
有価証券報告書提出予定日 2024年6月24日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有 機関投資家及び個人投資家向け

(百万円未満四捨五入)

1. 2024年3月期の連結業績 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		調整後EBITDA		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	2,909	4.4	844	225.2	△3,642	—	△3,242	—	△2,171	—	△1,811	—
2023年3月期	2,785	—	260	—	△1,955	—	△1,755	—	△1,864	—	△1,673	—

	当期包括利益 合計額		基本的1株当たり 当期利益	希薄化後 1株当たり当期利益	親会社所有者帰属 持分当期利益率	資産合計 税引前利益率	売上収益 営業利益率
	百万円	%	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	△2,086	—	△107.84	△107.84	△28.5	△35.6	△125.2
2023年3月期	△1,292	—	△99.63	△99.63	△21.6	△15.1	△70.2

- (注) 1. 基本的及び希薄化後1株当たり当期利益については、親会社の所有者に帰属する当期利益の数値を基に算出しております。
2. 調整後EBITDA=営業利益+減価償却費±その他の調整項目(のれん減損、未実現買収対価、投資事業にかかる未実現評価損益等)
3. 当第4四半期連結会計期間より、ソフトウェア事業セグメントにおけるデザイン事業を非継続事業に分類しています。これにより、売上収益、調整後EBITDA、営業利益、税引前当期利益は非継続事業を除いた継続事業の金額を表示し、当期利益及び親会社の所有者に帰属する当期利益は、継続事業及び非継続事業の合算を表示しています。なお、前連結会計年度についても同様に表示しているため、これらの対前期増減率は記載していません。詳細はP.12(非継続事業)をご参照ください。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	7,587	5,757	5,582	73.6	332.12
2023年3月期	10,618	7,629	7,134	67.2	424.73

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	630	△427	△310	1,731
2023年3月期	235	4	△337	1,744

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	親会社所有者 帰属持分 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	—	0.00	—	4.50	4.50	76	—	1.0
2025年3月期(予想)	—	2.00	—	4.50	6.50	109	—	1.7
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—	—	—	—

(注) 2025年3月期の期末の配当予想につきましては、現時点では未定としております。

3. 2025年3月期の連結業績予想 (2024年4月1日～2025年3月31日)

2025年3月期の業績予想につきましては、2024年3月末に実施したThis Place Limited社の売却によるグループ再編に伴い、今後の戦略や活動計画含め精査中です。精査が完了次第、速やかに開示の予定です。

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更
- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：有
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期	17,491,265株	2023年3月期	17,491,265株
② 期末自己株式数	2024年3月期	683,921株	2023年3月期	695,942株
③ 期中平均株式数	2024年3月期	16,795,626株	2023年3月期	16,793,704株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足資料及び決算説明会内容の入手方法）

当社は、以下の通りインターネットでの決算説明会を開催する予定です。使用する資料については、当社ウェブサイトに掲載する予定です。また、説明会の模様は、YouTube Liveによりライブ配信するほか、後日当社ウェブサイトでも公開する予定です。

2024年5月14日（火） 18：00～

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結財政状態計算書	5
(2) 連結損益計算書	7
(3) 連結包括利益計算書	8
(4) 連結持分変動計算書	9
(5) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(6) 連結財務諸表に関する注記事項	12
4. その他	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

区分	前連結会計年度	当連結会計年度	増減率
売上収益	2,785百万円	2,909百万円	4.4%
調整後EBITDA	260百万円	844百万円	225.2%
営業利益又は営業損失(△)	△1,955百万円	△3,642百万円	－%
税引前利益又は税引前損失(△)	△1,755百万円	△3,242百万円	－%
親会社の所有者に帰属する当期利益又は親会社の所有者に帰属する当期損失(△)	△1,673百万円	△1,811百万円	－%

＜売上収益及び利益の状況＞

当社グループは、2024年3月8日開催の取締役会において連結子会社であるThis Place Limitedの全株式の譲渡を決議し、2024年3月22日にThis Place Holdings Limitedに譲渡したため、連結財務諸表の作成上、デザイン事業を非継続事業に分類しています。このため、売上収益、調整後EBITDA、営業利益及び税引前利益は、非継続事業を除いた継続事業の金額を記載しています。また、前期からの増減率の記載についても、同様に算定しております。詳細は、P.12「3. 連結財務諸表及び主な注記 (6) 連結財務諸表に関する注記事項(非継続事業)」に記載のとおりです。

当連結会計年度(2023年4月～2024年3月)における当社グループの売上収益については、ソフトウェア事業が堅調に推移したことにより、前期比で4.4%増の2,909百万円となりました。

利益は、企業投資事業において投資先Gorilla Technology Group社の株価下落に伴う未実現評価損失4,061百万円を計上したことにより、営業損失3,642百万円、税引前損失3,242百万円、親会社の所有者に帰属する当期損失1,811百万円となりました。

＜当社の報告セグメント＞

当社は、「ソフトウェア事業セグメント」と「投資事業セグメント」の2つを報告セグメントとしています。

＜ソフトウェア事業セグメント＞

	前連結会計年度	当連結会計年度	前期比
売上収益	2,785百万円	2,909百万円	104.4%

データ連携ツール「Warp」は、幅広い業界でDXが推進されるなかで、業務を効率化するアプリや人事労務関連のクラウドサービスと既存のシステムをつなぐビジネスが成長しました。電子帳簿保存法改正などへの対応により会計サービスとの連携ニーズも高まり、年間を通じて堅調に推移しています。直近では、中小企業や部門・プロジェクト単位など小規模組織での連携ニーズが増加し、月額課金(サブスクリプション)型製品の拡大基調が続いています。

モバイルアプリ作成ツール「Platio」は、順調に受注社数を拡大するとともに、既存顧客においては全社利用に向けた大規模プランへの切り替えが増えている状況です。また、より高い次元で企業の情報資産を活用するPlatio Connectなど、付加価値・収益性の高いサービスの採用が拡がり製品販売構成も改善しています。第4四半期には、防水・防塵・耐衝撃性を兼ね備えたAndroidタブレットへの対応を開始し、屋外を含めた現場での利活用に適したアプリへと進化しました。これにより、労働時間に関する新たな規制「2024年問題」の影響を受ける物流・建設業界からの引き合いも拡大しています。

AI/IoTプラットフォーム「Gravio」は、クラウド環境にも対応する新バージョンを2023年7月に発表するとともに、i-Pro社のカメラやSORACOMなどとの連携も強化し、新たな用途や販売チャネルの拡大を進めています。

デジタルコンテンツプラットフォーム「Handbook X」は、導入の手軽さや多様なコンテンツへのアクセスのしやすさなどが評価され、大手鉄道会社で採用されるなどマーケット開拓を押し進めています。

＜投資事業セグメント＞

Asteria Vision Fund I, L.P. (AVF-1)を通じて、当社のソフトウェア事業と同じ「D4G」(Data, Device, Decentralized, Design for Green) 領域への投資を実施しており、その業績は、国際会計基準に基づき投資先の評価額の増減を計上しています。

	前連結会計年度	当連結会計年度	前期比
評価額の増減(△は減少)	△2,033百万円	△3,954百万円	－%

主として、AI開発のGorilla Technology Group社(米国NASDAQ上場)の評価額が減少しました。

《当社グループの取り組み》

今後、当社グループにおいては、デジタル化は不可逆であると考えており、数年間にわたって大きく成長すると考えられる「D4G」領域への事業展開及び戦略的投資を継続します。事業領域においては、ソフトウェア製品から培ってきた強みであるノーコード関連領域の取り組みを強化しています。ノーコードによるソフトウェア文化の変革を目的として当社も発起企業として参画した「ノーコード推進協会」は、設立から僅か1年で150を超える企業や地方自治体が加盟するコンソーシアムに拡大し、企業や社会の生産性向上や人材不足の解消に寄与するDXを推進しています。働き方改革では、より高い次元で多様なワークスタイルを実現することを目的にオフィスのあり方を再定義し、社員が自律的に選択するマルチワークプレイスによる新しい働き方を推進しています。2023年7月には長野県軽井沢町に新たなオフィスを開設し、より充実した就業環境の整備も進めています。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における資産合計は、7,587百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,031百万円減少しました。この主な要因は、その他の金融資産3,366百万円の減少によるものです。

(負債)

負債合計は1,830百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,159百万円減少しました。この主な要因は、繰延税金負債850百万円、営業債務及びその他の債務169百万円の減少によるものです。

(資本)

資本合計は5,757百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,872百万円減少しました。この主な要因は、利益剰余金1,679百万円及び非支配持分320百万円の減少によるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より12百万円減少し、1,731百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は630百万円（前期235百万円の獲得）となりました。主に税引前当期損失3,242百万円に対し、その他の費用3,957百万円（主に投資にかかる未実現損失）の増加によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は427百万円（前期4百万円の獲得）となりました。主に投資の取得による支出219百万円、有形固定資産の取得による支出119百万円及び連結の範囲の変更に伴う子会社株式の売却による支出137百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は310百万円（前期337百万円の使用）となりました。主に長期借入金の返済による支出143百万円及び配当金の支払109百万円によるものです。

(4) 今後の見通し

2025年3月期の業績予想につきましては、2024年3月末に実施したThis Place Limited社の売却によるグループ再編に伴い、今後の戦略や活動計画含め精査中です。精査が完了次第、速やかに開示の予定です。

※将来情報に関する注意

重要な変更事象等が発生した場合は、適時開示等にてお知らせします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、「組織を超えたコンピューティングを実現するソフトウェアを開発し世界規模で提供する」をビジョンに掲げ、ソフトウェア製品を提供しております。当社グループのビジョンに掲げております「世界規模」で活動を行う上で、グローバルでの会計処理の統一、国際的な比較可能性を向上させ、ステークホルダーの皆様の利便性を高めることを目的として、2016年3月期有価証券報告書より国際会計基準(IFRS)を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	1,743,642	1,731,347
営業債権及びその他の債権	182,641	176,719
棚卸資産	4,348	2,643
その他の金融資産	410,012	454,200
その他の流動資産	91,470	141,630
流動資産合計	2,432,114	2,506,539
非流動資産		
有形固定資産	812,927	938,202
無形資産	151,030	241,420
持分法で会計処理されている投資	348,850	133,205
繰延税金資産	—	292,907
その他の金融資産	6,705,345	3,295,411
その他の非流動資産	167,597	179,657
非流動資産合計	8,185,748	5,080,801
資産合計	10,617,862	7,587,340

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	242,800	242,800
営業債務及びその他の債務	281,886	113,125
未払法人所得税等	75,126	—
その他の金融負債	53,860	64,542
その他の流動負債	771,037	827,910
流動負債合計	1,424,709	1,248,377
非流動負債		
引当金	9,367	9,393
借入金	357,400	214,600
繰延税金負債	849,507	—
その他の金融負債	343,198	357,999
その他の非流動負債	5,133	—
非流動負債合計	1,564,605	581,992
負債合計	2,989,313	1,830,369
資本		
資本金	2,275,343	2,275,343
資本剰余金	2,481,831	2,522,045
自己株式	△538,012	△505,334
その他の資本の構成要素	692,067	746,648
利益剰余金	2,222,293	543,361
親会社の所有者に帰属する持分合計	7,133,522	5,582,064
非支配持分	495,027	174,907
資本合計	7,628,549	5,756,971
負債及び資本合計	10,617,862	7,587,340

(2) 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
継続事業		
売上収益	2,785,170	2,909,008
売上原価	297,739	274,125
売上総利益	2,487,431	2,634,883
販売費及び一般管理費	2,416,375	2,047,791
その他の収益	8,130	7,283
その他の費用	2,033,749	4,236,004
営業利益 (△は損失)	△1,954,563	△3,641,629
金融収益	268,820	439,500
金融費用	75,182	43,127
持分法による投資損益 (△は損失)	5,427	3,367
税引前利益 (△は損失)	△1,755,498	△3,241,889
法人所得税費用	△458,096	△1,140,651
継続事業からの当期利益 (△は損失)	△1,297,402	△2,101,239
非継続事業		
非継続事業からの当期利益 (△は損失)	△566,910	△70,019
当期利益 (△は損失)	△1,864,312	△2,171,258
当期利益 (△は損失) の帰属		
親会社の所有者	△1,673,207	△1,811,318
非支配持分	△191,105	△359,939
当期利益 (△は損失)	△1,864,312	△2,171,258
1株当たり当期利益		
基本的1株当たり当期利益 (△は損失)		
継続事業	△65.88	△103.68
非継続事業	△33.76	△4.17
合計	△99.63	△107.84
希薄化後1株当たり当期利益 (△は損失)		
継続事業	△65.88	△103.68
非継続事業	△33.76	△4.17
合計	△99.63	△107.84

(3) 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期利益 (△は損失)	△1,864,312	△2,171,258
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融 資産	208,321	50,754
純損益に振り替えられることのない項目合計	208,321	50,754
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	363,611	34,221
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	363,611	34,221
その他の包括利益合計	571,932	84,975
当期包括利益	△1,292,380	△2,086,283
当期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△1,162,584	△1,766,163
非支配持分	△129,796	△320,120
当期包括利益	△1,292,380	△2,086,283

(4) 連結持分変動計算書

親会社の所有者に帰属する持分

	その他の資本の構成要素					合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	在外営業活動体の換算差額	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	
	千円	千円	千円	千円	千円	千円
2022年4月1日時点の残高	2,275,343	2,457,037	△538,012	414,921	△155,986	258,934
会計方針の変更による累積的影響額	—	—	—	△452	—	△452
会計方針の変更を反映した当期首残高	2,275,343	2,457,037	△538,012	414,468	△155,986	258,482
当期利益 (△は損失)	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	302,302	208,321	510,623
当期包括利益合計	—	—	—	302,302	208,321	510,623
配当金	—	—	—	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	24,794	—	—	—	—
連結範囲の変動	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	—	△77,038	△77,038
所有者との取引額合計	—	24,794	—	—	△77,038	△77,038
2023年3月31日時点の残高	2,275,343	2,481,831	△538,012	716,770	△24,703	692,067
当期利益 (△は損失)	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	△5,598	50,754	45,156
当期包括利益合計	—	—	—	△5,598	50,754	45,156
配当金	—	—	—	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	△2,778	—	—	—	—
連結範囲の変動	—	42,992	32,679	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	—	9,425	9,425
所有者との取引額合計	—	40,214	32,679	—	9,425	9,425
2024年3月31日時点の残高	2,275,343	2,522,045	△505,334	711,171	35,476	746,648

	親会社の所有者に帰属する持分		非支配持分	資本合計
	利益剰余金	合計		
	千円	千円		
2022年4月1日時点の残高	3,903,237	8,356,539	624,823	8,981,362
会計方針の変更による累積的影響額	△9,141	△9,594	—	△9,594
会計方針の変更を反映した当期首残高	3,894,096	8,346,946	624,823	8,971,768
当期利益 (△は損失)	△1,673,207	△1,673,207	△191,105	△1,864,312
その他の包括利益	—	510,623	61,309	571,932
当期包括利益合計	△1,673,207	△1,162,584	△129,796	△1,292,380
配当金	△75,633	△75,633	—	△75,633
株式に基づく報酬取引	—	24,794	—	24,794
連結範囲の変動	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	77,038	—	—	—
所有者との取引額合計	1,404	△50,839	—	△50,839
2023年3月31日時点の残高	2,222,293	7,133,522	495,027	7,628,549
当期利益 (△は損失)	△1,811,318	△1,811,318	△359,939	△2,171,258
その他の包括利益	—	45,156	39,820	84,975
当期包括利益合計	△1,811,318	△1,766,163	△320,120	△2,086,283
配当金	△109,248	△109,248	—	△109,248
株式に基づく報酬取引	—	△2,778	—	△2,778
連結範囲の変動	251,059	326,730	—	326,730
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	△9,425	—	—	—
所有者との取引額合計	132,386	214,704	—	214,704
2024年3月31日時点の残高	543,361	5,582,064	174,907	5,756,971

(5) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
継続事業からの税引前利益 (△は損失)	△1,755,498	△3,241,889
減価償却費及び償却費	129,202	194,131
金融収益	△268,820	△439,500
金融費用	75,182	43,127
減損損失	—	279,494
持分法による投資損益 (△は益)	△5,427	△3,367
その他の収益	△8,130	△7,283
その他の費用	2,033,749	3,956,511
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	113,860	△39,033
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△226,346	△133,449
その他	△26,702	△151,051
小計	61,070	457,689
利息及び配当金の受取額	45,755	4,764
利息の支払額	△5,292	△4,606
法人所得税の支払額又は還付額 (△は支払)	△5,200	△102,933
非継続事業からの営業活動によるキャッシュ・フロー	138,493	274,753
営業活動によるキャッシュ・フロー	234,825	629,667
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△390,386	△118,857
有形固定資産の売却による収入	203	586
無形資産の取得による支出	△885	△3,533
貸付けによる支出	△402,660	—
投資の取得による支出	△144,916	△218,666
貸付金の回収による収入	502,775	—
投資の売却及び償還による収入	455,100	179,190
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△137,380
その他	△14,124	△13,087
非継続事業からの投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,235	△115,475
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,873	△427,223
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△142,800	△142,800
配当金の支払額	△75,538	△108,643
非支配持分からの払込による収入	2,709	5,339
リース負債の返済による支出	△42,492	△51,006
新株予約権の発行による収入	3,705	—
非継続事業からの財務活動によるキャッシュ・フロー	△82,287	△12,812
財務活動によるキャッシュ・フロー	△336,704	△309,922
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△98,006	△107,479
現金及び現金同等物の期首残高	1,816,106	1,743,642
現金及び現金同等物の為替変動による影響	25,542	95,184
現金及び現金同等物の期末残高	1,743,642	1,731,347

(6) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、以下の項目を除き、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

当社グループは、当連結会計年度より、以下の基準を適用しております。

IFRS		新設・改訂の概要
IAS第12号	法人所得税 (2021年5月改訂)	リース及び廃棄義務に係る繰延税金の会計処理を明確化

当社グループは、IAS第12号「法人所得税」(2021年5月改訂)を当連結会計年度から適用しております。

本改訂により、リース及び廃棄義務のように、取引時に同額の将来加算一時差異と将来減算一時差異が生じる場合、企業はそれにより生じる繰延税金負債及び繰延税金資産を認識することが明確になりました。

本改訂は遡及適用され、前連結会計年度については遡及適用後の連結財務諸表となっております。

なお、連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(非継続事業)

当社グループは、2024年3月8日開催の取締役会において連結子会社であるThis Place Limitedの全株式の譲渡を決議し、2024年3月22日にThis Place Holdings Limitedに譲渡いたしました。そのため、当連結会計年度におけるこれらの事業に関連する連結損益計算書及びキャッシュ・フロー計算書を、非継続事業として分類するとともに、前連結会計年度についても再表示し、当該非継続事業を区分して表示しております。

(1) 非継続事業の業績

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
	千円	千円
非継続事業の損益		
収益 (注)	629,872	1,095,343
費用 (注)	1,221,016	1,094,164
非継続事業からの税引前利益 (△は損失)	△591,144	1,179
法人所得税費用	△24,234	71,198
非継続事業からの当期利益 (△は損失)	△566,910	△70,019

(2) 非継続事業のキャッシュ・フロー

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
	千円	千円
非継続事業からのキャッシュ・フロー		
営業活動によるキャッシュ・フロー	138,493	274,753
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,235	△115,475
財務活動によるキャッシュ・フロー	△82,287	△12,812
合計	54,971	146,466

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループは、「ソフトウェア事業」及び「投資事業」の2つを報告セグメントとし、2つの事業を基礎として組織が構成されています。

当社グループは、2024年3月8日開催の取締役会において連結子会社であるThis Place Limitedの全株式の譲渡を決議し、2024年3月22日にThis Place Holdings Limitedに譲渡したため、これまでソフトウェア事業セグメントに含まれていたデザイン事業を非継続事業に分類し、セグメント情報から控除しています。これに伴い、前連結会計年度のセグメント情報については、非継続事業を除いた継続事業のみの金額に組み替えて表示しています。

(2) 報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失、及び資産の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

	報告セグメント			調整額 (注1)	連結
	ソフトウェア事業	投資事業	計		
	千円	千円	千円		
売上収益					
外部収益	2,785,170	-	2,785,170	-	2,785,170
セグメント間収益	81	-	81	△81	-
合計	2,785,252	-	2,785,252	△81	2,785,170
セグメント利益(△損失)					
(注2)	130,685	△2,093,011	△1,962,327	△81	△1,962,408
その他の収益及び費用(注2)					7,845
金融収益					268,820
金融費用					75,182
持分法による投資損益(△は損失)					5,427
税引前利益(△は損失)					<u>△1,755,498</u>
その他の項目					
減価償却費及び償却費	128,957	245	129,202	-	129,202

(注) 1. 「調整額」は、主としてセグメント間取引消去額を表示しています。

2. セグメント利益は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除していますが、その他の収益及び費用のうち、Asteria Vision Fund I, L.P. で保有する純損益を通じて公正価値で測定する金融資産に関する評価損益は投資事業のセグメント利益に振り替えています。

当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

	報告セグメント			調整額 (注1)	連結
	ソフトウェア事業	投資事業	計		
	千円	千円	千円		
売上収益					
外部収益	2,909,008	-	2,909,008	-	2,909,008
セグメント間収益	-	-	-	-	-
合計	2,909,008	-	2,909,008	-	2,909,008
セグメント利益 (△損失) (注2)	650,134	△4,017,283	△3,367,149	-	△3,367,149
その他の収益及び費用 (注2)					△274,480
金融収益					439,500
金融費用					43,127
持分法による投資損益 (△は損失)					3,367
税引前利益 (△は損失)					△3,241,889
その他の項目					
減価償却費及び償却費	193,902	229	194,131	-	194,131

(注) 1. 「調整額」は、主としてセグメント間取引消去額を表示しております。

2. セグメント利益は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しておりますが、その他の収益及び費用のうち、Asteria Vision Fund I, L.P. で保有する純損益を通じて公正価値で測定する金融資産に関する評価損益は投資事業のセグメント利益に振り替えております。

(1株当たり利益)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
親会社の普通株主に帰属する当期利益 (△は損失) (千円)	△1,673,207	△1,811,318
当期利益調整額	-	-
希薄化後1株当たり当期利益の計算に使用する 当期利益 (△は損失) (千円)	△1,673,207	△1,811,318
期中平均普通株式数 (株)	16,793,704	16,795,626
普通株式増加数 (株)	-	-
新株予約権 (株)	-	-
希薄化後の期中平均普通株式数 (株)	16,793,704	16,795,626
基本的1株当たり当期利益 (△は損失) (円)		
継続事業	△65.88	△103.68
非継続事業	△33.76	△4.17
合計	△99.63	△107.84
希薄化後1株当たり当期利益 (△は損失) (円)		
継続事業	△65.88	△103.68
非継続事業	△33.76	△4.17
合計	△99.63	△107.84

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

4. その他

該当事項はありません。